

# 振動機能付き内視鏡フード

第3内科学 久米恵一郎

## 利用分野

本技術は、視野を損なうことなく処置具に振動を付与することにより、内視鏡的処置の効率や安全性を高めることができる内視鏡、内視鏡フード、処置具挿通用チューブ及び内視鏡キャップに係る技術である。

## シーズ

治療効率を上げる第3の要素としての「振動」に着目し、内視鏡本体型、鉗子振動フード型、外付けチューブ型、側視鏡鉗子振動型の4つのタイプを想定。振動機能付きEMRフードでは、スネアリング時に振動を与えることで、穿孔率が2割減少した。



## ニーズ

内視鏡的治療法においては、①粘膜下層の線維がなかなか切除できず長時間を要する場合がある、②筋層の下部組織まで吸引したことに気づかず穿孔させることがある、③細かな結石が遺残し、症状を再発させることがある、などの手技的課題がある。

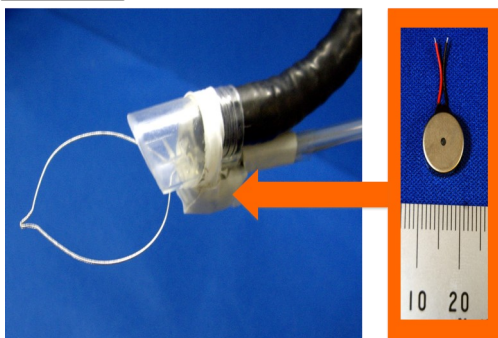
## 連携分野

臨床応用への課題として、①内視鏡本体の振動ではなく、ナイフ等の処置具のみの振動付加技術の開発、②防水性の獲得とメカの安定動作、などが残されている。



## 知財保護

特許第5602798号



「振動機能付き髭剃り」からヒントを得たんだ



産業医科大学 産学連携・知的財産本部  
〒807-8555  
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

問い合わせ先: 研究支援課  
TEL: 093 (280) 0532  
FAX: 093 (691) 7518  
E-mail: chizai@mbox.pub.uoeh-u.ac.jp